

鳥取県版 「土曜授業等」

県教育委員会では、全ての子どもたちの土曜日における教育活動の充実を目的として、学校・家庭・地域が連携・協力して行う学校における授業や地域における多様な学習や体験活動の機会の充実など、土曜日の特性を生かした取組の推進を支援しています。ここでは平成26年度の取組を紹介します。

小・中学校の取組

平成26年度は12市町村においてそれぞれの創意工夫ある取組が実施されました。その内容は、平成27年2月1日に開催した「土曜授業等推進フォーラム」等でも紹介しましたが、参加した保護者からは、「子どもたちの体験を支える土曜授業になってほしい。」「学校だけではなく、地域・保護者の協力のもと、土曜授業等をより充実して

いきたい。」「土曜授業の取組についてもっと話を聞ける会が必要」等の意見がありました。

平成27年度も積極的に情報提供を行うなどして市町村の取組を支援していきたいと考えています。

鳥取市 「きなんせ!English World」

英語を通して、ハロウィーンやバレンタイン、春節など、行事や季節をテーマとした活動を体験しています。回数を重ねるごとに参加者が増え、学校でも外国語指導助手(ALT)に積極的に話しかける児童が増えました。保護者方からも大変好評です。

保護者の声

- ◆ たくさんの外国人の先生と交流できる機会をつくっていただけてありがたい。
- ◆ 初めは緊張していたが、先生たちと触れ合ううちに笑顔も見られ、参加させてよかったと思う。



第4回きなんせ!English World

倉吉市 「ふるさと学習」

地域の指導者の協力を得ながら、「くらし風土記〜倉吉学入門〜」を活用して「ふるさと学習」を展開しています。地域の方との交流が深まり、これまで知らなかった地域の歴史について楽しく学習することができました。

保護者の声

- ◆ 土曜授業があることで、保護者や地域の人は地域の学校に参加しやすくなり、平日には見られない子どもの様子が見える。



昔の遊び：倉吉いか(風)作り

問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7512 FAX 0857(26)8170

県立高校の取組

平成26年度は倉吉東高校を重点校、八頭高校、智頭農林高校、倉吉総合産業高校、米子東高校、米子西高校、境港総合技術高校の6校をモデル校として、学校・地域が連携・協力した様々な学習や体験活動を実施しました。

倉吉東高校では、毎月第2、4土曜日にアクティブ・ラーニングを取り入れた65分×3コマの授業を実施しました。また、モデル校では、進路意識向上のための講演会や地域の商店街・イベント等で商品販売や地域住民との交流、地域の自然の中で生物や植物の観察、中高連携の芸術活動等を行いました。



地域住民との交流：境港総合技術高校

活動成果(学校の声)

- ◆ 地域の有識者による直接的指導が、生徒の学びの深化につながった。
- ◆ 参加生徒が地域のイベントで地域の方々と一体となってそれぞれの学科の特性を活かした活動を行うことにより、地域の担い手となる生徒の意欲や自覚を育むことができた。



野鳥調査：智頭農林高校

- ◆ 生徒は、住民等多くの方から感謝やねぎらいの言葉を言われ、充実感や自己有用感を高めることができた。
- ◆ 遠隔地や時間帯により平日に実施することが困難な取組を、土曜日を活用することによって、定期的実施することができた。
- ◆ 高校生と中学生がしっかりと交流し、一つのものを成し遂げるといった貴重な体験となった。

問合せ先 県教委高等学校課 電話 0857(26)7916 FAX 0857(26)0408

絵本でHAPPY! パパもじいじも 読みメンになろう!

読みメンぱーく inとっとり

6月は「読みメン月間」
「読みメン」に興味を持っていただけるよう、様々な取組やイベントを行います。

会場：鳥取県立図書館 大研修室

「読みメン」って何?

「読みメン」= 子どもに絵本を読む人
読みメンの「メン」にはメンズ(男性)という意味もあり、お父さんやおじいさんにも、もっと子どもさんと絵本を楽しんでほしいという願いが込められています。

どうすればなれるの?

むずかしいルールはありません。好きな絵本を子どもさんと一緒に読むだけ!一番大切なことは自分自身が楽しむこと。

読みメンで家族もHAPPY

お父さんが絵本を読むことは、お子さんとの楽しみになるのはもちろん、お母さんのゆとりの時間につながります。家族みんなが絵本でHAPPY。

絵本を楽しんだり、おもちゃを作ったり、県立図書館で楽しく遊ばせよう!
お子さまと一緒にご家族みなさんでおいでください!

6月13日(土) 午後2時~3時45分 申込必要 定員40組
絵本とおもちゃづくりを楽しもう!

講師/末利 研さん(児童文学作家・手作りおもちゃ研究者)

6月14日(日) 午前10時30分~11時30分
えーさくおじさんの読みメンを楽しもう!

講師/岩田英作さん(元祖読みメン、鳥取県立大学短期大学部教授)

午後2時~3時
ものがたりの世界を親子で楽しもう!

講師/中島諒人さん(鳥の劇場芸術監督)

「読みメン」は鳥取県・島根県の山陰両県で普及を進めています。

問合せ先 県立図書館 電話 0857(26)8155 FAX 0857(22)2996
http://www.library.pref.tottori.jp/

リーフレットを配布

読みメンへのステップやおすすぬ絵本を紹介しています。

読みメンコーナーの開設

県立図書館児童図書室や市町村図書館に、男性の読み聞かせにおすすめ本コーナーを設置します。

読みメンでちやうを配布

読んだ絵本を記録できる手帳を県内の公共図書館で配布します。

読みメン司書によるおはなし会を開催

6月から毎月第3日曜日に県立図書館で開催します。

保護者研修会に! 大好評! 読み聞かせボランティア研修会に! 鳥取県子ども読書アドバイザーをご活用ください!

読み聞かせは、子どもたちの心の成長を支えるだけでなく、子どもたちが親や周囲の大人の愛情を感じることができるコミュニケーションの手段でもあります。

「鳥取県子ども読書アドバイザー」が、絵本の選び方や子育てと読み聞かせの関わり、読み聞かせの大切さやポイントなど、基本の「き」からお話します。

アドバイザーへの謝礼、交通費は県教委が負担します。

※研修会用レジュメ等の必要部数の準備は各団体で対応願います。

派遣先からの声・感想

読み聞かせボランティア

読み聞かせは何のためであるかを学び、ボランティアとしての目的観が変わりました。子どもたちとの接し方から変わるような気がします。

何回かアドバイザーに来ていただき研修していますが、今回もまた知らなかったこと、新しい知識を教えてもらって参考になりました。

保護者

実践的でありながら、アドバイザーの方の子育てへの思いが伝わってくるようなお話でした。

絵本について悩んでいましたが参考になりました。膝の上でたくさん絵本を読んであげたい。

問合せ先 県教委社会教育課 電話 0857(26)7943 FAX 0857(26)8175

芸術の都パリにあこがれた 画家の名品展

この春、県立博物館に、世界の優れた美術品を所蔵するポーラ美術館から、レオナルド・フジタ(藤田嗣治)を中心に、天才画家ピカソやモディリアーニなどの有名な作品がやってきます。

フジタは1913年に、一人でフランスのパリに渡り、絵の勉強を続けました。そして、1921年サロン・ドートヌという展覧会に出品した作品が「すばらしき乳白色」と高い評価を受け、一躍パリの有名画家の仲間入りを果たします。

芸術の中心地であった当時のパリには、世界中から画家が集まっていた。フジタは、既に有名になっていたピカソやルソー、モディリアーニ、パスキンなどと交流するなど積極的に活動していました。

1910~20年代にパリを訪れたのはフジタだけではなく、鳥取県出身の人たちのなかにもパリに留学した人がいました。洋画家の前田寛治、香田勝太、森岡柳蔵です。彼らはフジタと同じ東京美術学校を卒業した後、パリで絵画の勉強を続け、帰国後は日本を代表する画家として活躍しました。

この春、県立博物館はパリにあこがれた画家達の作品でいっぱいになります。ぜひ、お気に入りの一枚を見つけに県立博物館へ来てみませんか?

「ポーラ美術館コレクション レオナルド・フジタ展 パリへの視線」は、5月16日(土)~7月5日(日)まで開催。常設展示「パリへのあこがれ」は5月20日(水)~7月5日(日)まで。



森岡柳蔵《山畑(トローユ村)》1923年 油彩・カンヴァス 当館蔵
香田勝太《ノートルダム・ド・パリ》1928年 油彩・カンヴァス 当館蔵
前田寛治《セーヌ河畔の春》1925年 油彩・カンヴァス 当館蔵

問合せ先 県立博物館 電話 0857(26)8042 FAX 0857(26)8041



「はなつきー&のーちゃん」
作者 大坂府 中尾みのりさん

木製高杯の花弁をまわったキャラクター(腕を入れると高杯の花弁と同じ数になります)。「青谷」と「青い海」をモチーフにした髪型と名前です。一緒にいる「のーちゃん」は、青谷上寺地蔵尊で出土した弥生人の顔をもとにうまれた、ちょっと不気味な、はなつきーの相棒犬(?)です。